

第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者 及び支部担当者会議

石川県支部で開催された会議に、石川県の
青年奉仕団代表として4名の学生が参加しました。



第3ブロック支部 青年奉仕団会議に参加して

金沢星稜大学学生赤十字奉仕団

委員長 舟田 彩乃

12月7、8日に石川県支部で開催された第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び支部担当者会議に参加させていただきました。この会議では、普段関わることがない他県の奉仕団の方々と交流することができ、各奉仕団が抱える問題点について多様な視点から考えることができた貴重な機会となりました。特にグループワークでは、各奉仕団が直面している課題について共有したり、今後の取り組みについて意見交換をしたりすることができました。

活発な議論を通じて、工夫されていることについて聞くことができ、新たな考えを得ることができました。今回の会議を通して得られた意見を活かし、今後の活動に繋げ一層充実させていきたいと思います。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

北陸大学学生赤十字奉仕団

委員長 田原 真柚子

12月7、8日に開催された令和6年度日本赤十字社第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び支部担当者会議に参加しました。同年の元日には開催県である石川県で震災があり、他県の方から多くの支援を今も受けている状況で、他県の青年奉仕団の方と共に、避難所運営ゲームを体験し活発な意見の交換を行いました。このような体験をすることでより深く赤十字奉仕団員としての自覚が芽生え、被災した方々に寄り添えるようになりたいと思いました。今後災害が起こった時に、この経験を活かしてボランティア活動に積極的に参加していきたいです。

他県の奉仕団と交流の輪を広げるため、助け合いの精神を持ち、感謝の気持ちを大切に、またこのような機会があれば参加したいと思います。

日赤石川県支部のホームページからも奉仕団だよりを閲覧することができます。▶

発行日 2025.3.31 赤十字奉仕団石川県支部委員会 石川県金沢市鞍月東2丁目48番地



赤十字奉仕団 だより



赤十字の基本原則

人道・公平・中立・独立
奉仕・単一・世界性

2025年3月

48号

SEKIJYUUJI HOUSHIDAN DAYORI



1

2

3

4

5

【写真】

- ① 志賀町児童館でのキッチンカーイベント
- ② 輪島市での泥上げボランティア
- ③ 奉仕団委員長・副委員長等県外視察研修
- ④ 赤十字ボランティア基礎研修
- ⑤ 海外たすけあい街頭募金

被災地での ボランティア活動



かほく市赤十字奉仕団 藤田 すみ子・沖野 輝世敏・山田 道子

愛知県の赤十字奉仕団との合同炊き出し 活動を行って

12月14日(土)、志賀町児童館にて愛知県の赤十字奉仕団と共同で、来場した親子を対象にキッチンカーを使用した炊き出しを行いました。来場者には、「卵とじうどん・炊き込みご飯のおにぎり・さつまいもの蒸しパン」を提供しました。10月にかほく市赤十字奉仕団農園で収穫した鳴門金時を使用したさつまいもの蒸しパンは、全部で135個提供しました。

キッチンカーで調理を行い、屋外にセットしたテーブルで食事を楽しんでいただきました。天候にも恵まれ、志賀町LINEでの広報活動もあり、たくさんの方が来場され食事が足りなくなるほど大盛況でした。



柔道整復師会赤十字奉仕団 山田 俊志

泥上げボランティアを実施して



令和7年1月18日(土)、県内の奉仕団と共に柔道整復師会赤十字奉仕団として輪島市内のボランティア活動に参加させていただきました。昨年9月の豪雨により、家屋に隣接する水田の水路が土砂で埋まってしまう、このままでは今年の耕作ができないという方への支援でした。

一人では到底達成できない大変な作業でしたが、奉仕団メンバーと支部職員合わせて14名が力を合わせ土砂の取り除き作業を完成させました。依頼主の方は水が流れるようになった水路を見て喜んでいました。

私自身、能登半島地震で被災し1年にわたり多くのボランティアの方の支援を受け、その活動が本当にありがたく重要であることを改めて感じていました。今後も被災者の気持ちに寄り添いお役に立てるよう活動をしていきたいと思っています。

無線赤十字奉仕団 委員長 古屋 栄彦

金沢マラソン 救護ボランティアに参加して

金沢マラソンの救護ボランティアとして初めて参加しました。救急法基礎講習や救急員養成講習を何度か受講してきましたが、大会時の緊迫した状況で対応できるのか少々不安でした。しかし、事前に行われた救護ボランティア研修で当日のチームメンバーとともに実際に使用するAEDを使いながら救護手順を確認できたこともあり、救護活動に自信をもって臨むことができました。

担当エリアはランナーにとって壁と言われる30km付近で、それぞれの目標に向かって走る姿が印象的でした。幸いにもAEDを使用することはありませんでしたが、足の痛みや



体調不良を訴えたランナーの状況を救護所へ連絡するといった対応をしました。休憩後にレースへ復帰したランナーからお礼の言葉も頂くことができ、有意義な活動でした。次回もサポート隊として関わっていきたいと思います。

扇台校下赤十字奉仕団 委員長 渡辺 俊晃

海外たすけあい街頭募金に 参加して

12月8日「海外たすけあい街頭募金」を金沢エムザ前で参加者約10名で行いました。当日は募金箱やのぼりを持つ手ががじかも寒さでしたが、募金の声掛けも段々慣れて来ると大きくなり、立ち止まってくれる方々も増えてきました。近江町市場も近いので、買物や観光に来られた方もおり、学生さんや親子連れの子ども達も募金片手に声をかけてくれ、約1時間の活動でしたが、多くの方々にご協力を頂きました。



いま世界でも、戦争により住む場所や学校・病院など生活に必要な場所が奪われているというニュースが伝えられています。支援を必要とする方々に少しでも早く届くように願って、今後も活動を進めて行きたいと思います。

赤十字安全法奉仕団 浅野 裕美

赤十字ボランティア 基礎研修に参加して

赤十字の成り立ちでは、アンリー・デュナンの想いが今も世界中に受け継がれていることや、ボランティアは一人ひとりが身近なところから行動を起こすことが大切であるということを学びました。

グループワークでは、災害時に赤十字ボランティアとして何ができるのかを「自助」「共助」「公助」に分類し、各グループで意見を出し話し合い発表しました。能登半島地震・豪雨の経験を通して、気づきや課題を基に、ボランティア活動は日頃からの様々な備えが大切である等の意見



が活発に出されました。

今回の研修を通して、ボランティアは個々ができる範囲で、個々の強みを活かしながら途切れることなく活動するということの大切さを感じました。基礎研修で学んだことを今後の活動に活かしていきたいです。